

# 歳出 (町の支出)

## 質疑



### 衛生費

命をつなぐ大事な事業の継承を

〔金田委員〕 献血事業の内容は。

〔健康福祉課長〕 荒砥高校や社会奉仕団体の協力により、確保に努めている。平成30年度は322人に協力いただいた。謝礼は、生活消耗品である。

〔金田委員〕 献血は大事。今後、どのようにして計画を達成していくか。

〔健康福祉課長〕 採血目標は、年間400人。

大切さを周知し、企業にも理解いただき、できるだけ確保したい。

### 農林水産業費

蚕桑地区で集積進む

〔小口委員〕 地域集積協力金の実績は。

〔農林課長〕 一定割合以上の農地を機構に貸し付けた地域に交付される協力金であり、蚕桑の全地区に合計約1083万円を交付した。蚕桑地区では、複数の方が集まって法人を作り、その法人に集積を進めたことが影響していると捉えている。

地産地消に向けて

〔横山委員〕 福祉施設への地産地消補助はどのように実施したか。

〔農林課長〕 保育園や福

祉施設等で、6月から12月までに「白鷹の日」

として、町の農産物を給食で使う取り組みを行った。合計4776人で、1食あたり40円を補助した。10事業所を目標としているが、

給食を外部委託している事業所では、取り組みが難しいのが実情である。

### 商工費

町産材利用の促進は

〔小口委員〕 町産材等木造建築推進事業費補助金を利用した新築、増

改築の件数は。また、この事業により、町産材の使用は進んだか。

〔商工観光課長〕 実績件数は、新築が7件、増改築は4件だった。補助総額約488万円のうち、町産材使用分は約207万円であり、一定程度、町産材の使用があつた。

用があつた。

サテライトオフィス閉鎖

〔小口委員〕 サテライトオフィスが平成30年度で終了した。成果は。

〔商工観光課長〕 17年間設置し、訪問企業数は4092社、マッチング数は768件であつた。製造業等の受注拡大が主であつたが、商業、観光、移住定住等に至るまで、幅広い首都圏での情報窓口となった。

快適な観光環境へ

〔菅原委員〕 観光公衆施設整備支援事業補助金の実績は。

〔商工観光課長〕 観光客が過ごしやすいよう、公衆トイレを整備する事業。八乙女種まきザクラと、紅花まつり会場の十王八掛分館及び萩野南分館の3カ所の

トイレを整備した。

### 土木費

賃貸住宅建築支援

〔奥山委員〕 すまいる新生活賃貸住宅供給サポート事業補助金の実績は。家賃はいくらか。

〔建設水道課長〕 民間の賃貸住宅建築への補助であるが、2件の申請があり、合計20部屋の賃貸住宅が完成した。家賃は、6万1千円から6万7千円である。

### 消防費

高齢世帯の設置が

〔笹原委員〕 火災報知器設置支援の対象数と実績は。

〔総務課長〕 対象の347世帯中、189世帯に209個を設置した。〔笹原委員〕 実績が低い理由と今後の対策は。